

- 問1 一票の格差を是正するために、日本の衆議院議員選挙（小選挙区）で採用されている、都道府県への議員定数の割り振り方法を見直す仕組みを何といいますか。（2023年 和歌山県公立入試 類似）
1. ドント方式                      2. 拘束名簿式                      3. アダムズ方式                      4. 重複立候補制
- 問2 日本の衆議院議員選挙などで採用されている「小選挙区制」の特徴について、比例代表制と比較した記述として正しいものはどれですか。（2026年 滋賀県公立入試 類似）
1. 1つの選挙区から2人以上の当選者を選ぶ仕組みであり、大政党だけでなく中規模の政党からも当選者が出やすいため、政権の交代が頻繁に起こりやすい。
2. 有権者が候補者名と政党名の両方を記入して投票するが、小政党が乱立することを防ぐために、得票率が低い政党には議席を一切配分しない仕組みである。
3. 1つの選挙区から1人の当選者を選ぶため、当選者以外に投じられた「死票」が多くなる傾向にあるが、特定の政党が議席の過半数を確保しやすく、政権が安定しやすい。
4. 政党の得票率に応じて議席を配分するため、少数の意見を持つ人々の声も議会に反映されやすく、多種多様な意見を集約することに向いている。
- 問3 衆議院議員総選挙の仕組みにおいて、全国を11のブロックに分け、各政党の得票数に基づいて議席を配分する制度の名称として正しいものはどれですか。（2018年 鳥取県公立入試 類似）
1. 中選挙区制                      2. 国民審査                      3. 比例代表制                      4. 小選挙区制
- 問4 2021年に行われた衆議院議員総選挙の統計によると、有権者数が約48万人の東京都第13区と、約23万人の鳥取県第1区では、議員1人を選ぶための有権者の数に約2倍の開きがありました。このような一票の格差が放置されることは、日本国憲法が定めるとの原則に反する恐れがありますか。（2023年 和歌山県公立入試 類似）
1. 議会制民主主義                      2. 法の下の平等                      3. 基本的人権の尊重                      4. 国民主権の制限
- 問5 2016年の参議院議員選挙から、選挙権年齢が従来の20歳以上から18歳以上に引き下げられました。この選挙における統計では、全国の10歳代の有権者のうち、実際に投票所へ行って票を投じた人の割合が46.8パーセントであったと記録されています。この「実際に投票を行った人の割合」を指す用語として、適切なものはどれですか。（2018年 香川県公立入試 類似）
1. 投票率                      2. 定数は正                      3. 被選挙権                      4. 連座制
- 問6 定数465の衆議院において、ある選挙でX党が214議席を獲得しましたが、単独では過半数に届きませんでした。そこでX党は、政策面で親和性が高く28議席を持つZ党と協力して政権を担当することにしました。このように、複数の政党が合意に基づいて内閣を構成する最大の目的として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 群馬県公立入試 類似）
1. 選挙管理委員会の指示により、議席数に応じた議席配分を強制されるため
2. 内閣総理大臣を複数人選出することで、権力の集中を分散させるため
3. 全ての政党の意見を均等に政権に反映させ、野党が存在しない状態を作るため
4. 法案や予算案の可決に必要な過半数の議席を確保し、政権運営を安定させるため
- 問7 日本の衆議院議員総選挙で行われる投票の手順において、小選挙区選挙と比例代表選挙の記入方法の違いを説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2026年 富山県公立入試 類似）
1. どちらの選挙においても、あらかじめ印刷された候補者や政党のリストから選んで丸をつける
2. 小選挙区では政党の名称を記入し、比例代表では候補者の個人名を記入する
3. どちらの選挙においても、候補者の個人名または政党名のいずれを記入してもよい
4. 小選挙区では候補者の個人名を記入し、比例代表では政党の名称を記入する
- 問8 日本の選挙制度において、国民が選挙に立候補して議員になることができる権利を被選挙権といいます。参議院議員の被選挙権を得るために必要な条件として、憲法および公職選挙法で定められている内容はどれですか。（2025年 茨城県公立入試 類似）
1. 満二十五歳以上の日本国民であること                      2.                      3.                      4.                      満二十歳以上の日本国民であること                      満十八歳以上の日本国民であること                      満三十歳以上の日本国民であること
- 問9 日本の選挙制度をめぐる課題として、人口の移動にともない、選挙区ごとに議員1人あたりの有権者数が異なり、一票の価値に大きな不平等が生じる「一票の格差」が問題となっています。この格差を是正するために、議員の定数や選挙区の区割りを変更する際に、改正の対象となる法律を選びなさい。（2021年 愛媛県公立入試 類似）
1. 国会法                      2. 政治資金規正法                      3. 公職選挙法                      4. 日本国憲法
- 問10 日本の選挙において、地域による人口の偏りから、議員1人あたりの有権者数に大きな差が生じることがあります。この「一票の格差」が問題視されるのは、民主政治におけるどの原則を損なう恐れがあるためですか。最も適切な説明を選びなさい。（2020年 新潟県公立入試 類似）
1. 有権者の一票の価値をすべて等しく扱うという平等選挙の原則
2. 財産や性別によって選挙権を制限しないという普通選挙の原則
3. 誰に投票したかを他人が知ることはいできないとする秘密選挙の原則
4. 有権者が代表者を自分たちの手で選出するという直接選挙の原則
- 問11 選挙制度の一つである比例代表制が、小選挙区制と比較して持っている利点や特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 岐阜県公立入試 類似）
1. 選挙の管理が簡略化されるため、小選挙区制に比べて選挙費用を大幅に抑えることができる。
2. 当選に結びつかない「死票」を減らすことができ、少数派の意見を議席に反映させやすくなる。
3. 有権者が候補者個人を直接選ぶため、議員と選挙区の住民との結びつきが非常に強くなる。
4. 特定の大きな政党が議席の大部分を占めやすくなるため、政権が安定しやすくなる。
- 問12 日本の選挙における「普通選挙」と「平等選挙」の違いを説明した文として、適切なものはどれですか。（2015年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 普通選挙は2000年代以降に導入された概念であり、平等選挙は明治憲法下で確立された概念である
2. 普通選挙は候補者に直接投票することであり、平等選挙は誰でも立候補できることである
3. 普通選挙は自分の名前を書かずに投票することであり、平等選挙は学歴による差別をしないことである
4. 普通選挙は投票の資格に制限を設けないことであり、平等選挙は一票の価値を等しく扱うことである
- 問13 選挙制度を「死票（当選に結びつかなかった票）の多さ」と「議会での合意形成の速さ」という二つの軸で分類したとき、比例代表制の性質を説明したものとして適切なものはどれですか。（2026年 岐阜県公立入試 類似）
1. 死票が多く特定の政党に議席が集中するため、速やかな意思決定ができる。
2. 死票が多く多様な意見が切り捨てられるため、議論の対立が起こりにくい。
3. 死票が少なく二つの大きな政党のみが議席を占めるため、決定が非常に速い。
4. 死票が少なく多くの政党が議席を得るため、議会での意見調整に時間がかかる。